

「ホームページの改訂について」の趣旨について

2023 年 4 月 30 日

はすが丘自治会事務局 小泉

「はすが丘ニュース(第369号)」掲載の「ホームページの改訂について」の記事内容

現在、「はすが丘自治会ホームページ」を、①スマートフォンでの閲覧を容易にする、②掲載内容を充実させる、③活動される会員に役立つ道具にするなどを目的(《目標》)に、段階的に改訂を進めています。具体的には、①メニュー体系の整理整頓、②当誌などに二次元コード(上部のタイトルの横に新たに掲載したマークなど)を掲載、③便利な新たな機能(モジュール)が活用できる工夫を試行錯誤で進めています。なお、これらの導入及び運用費用は、広島市(「こむねつと広島《ひろしま》」に委託)が進めていることから無料です。

(おそらく、多くの皆さんは上記の記事を読まれて、何が目的・目標で、何に取り組み、その結果がどうなるかのイメージが浮かびにくいと思いますので、以下により説明いたします。)

1. 背景

(1) 自治会の基本的な課題

ライフスタイルが年々変化しているなかで、各自治会では会員の高齢化傾向などからの会員数の減少や役員の担い手不足などによる自治会活動の縮小化が課題となっています。

はすが丘自治会では、高齢化率(65 歳以上)は 41.80%ですが、近年、若い世帯が微増していることから高齢化率の鈍化は期待できますが、低下傾向であることは否めません。

こういった状況での各自治会の活動は前例踏襲傾向ではありますが、このままでは年々前例踏襲も困難になると思われます。

《ポイント》

◎会員確保としての情報提供の充実化

◎地域のつながりを大切にする情報の共有化の充実化

◎役員の担い手確保(含む育成)としての情報の共有化の充実化

(2) はすが丘自治会の情報伝達手段の種類と活用状況

① 回覧(会員に組単位で回覧又は配布)

自治会からの情報、関連団体から委託された情報など(活用されている)

② 掲示板(指定場所に掲示)

自治会からの情報、関連団体からの情報など(特定の会員のみが閲覧されている?)

③ 広報誌(会員に組単位で回覧又は配布)

自治会からの情報(特定の会員や記事のみが閲覧されている?)

④ LINE(インターネット)

事務局役員など特定の会員がグループ毎にスマートフォンで活用(活用されている)

⑤ ホームページ(インターネット)

不特定多数がそれぞれのパソコン又はスマートフォンで閲覧(閲覧されていない?)

(3) ホームページの変遷

ホームページは、インターネットの普及とともにパソコンで閲覧されていましたが、携帯電話では回線速度や画面の制約などから閲覧は容易ではありませんでした。

ところが、近年、携帯電話(含む通信回線)の性能が飛躍的に向上し普及していることや、ホームページがスマートフォン様式になり、閲覧が容易になっています。

また、時代とともに従来のホームページには動画が挿入され、YouTube、Tiktok、Facebook、LINE などの専用ページが新たなページ(投稿などで仲間とつながるなど)として全世代で活用されています。

一方、口コミ情報ですが、はすが丘自治会会員のパソコン利用者(インターネット環境)は高齢化や定年退職者の増加に伴い減少傾向にあるようですが、携帯電話利用者は急速にガラ系からスマートフォンに移行され、電話機能以外に LINE など新たな機能を会員間で活用されているようです。

《ポイント》

◎ホームページの閲覧は、パソコンからスマートフォンへ

◎閲覧するホームページから仲間とつながる専用ページへ

(4) 「はすが丘自治会ホームページ」の作成・運用環境

「はすが丘自治会ホームページ」は、広島市の各町内会・自治会を支援している広島市役所市民局市民活動推進室が、企画・運営(外部委託)して、地域ポータルサイト(こむねっとひろしま)として開設しています。この仕組みは、各社から開発されているツール(多種多様な機能)により特定サイトで運用するのではなく、「こむねっとひろしま」が用意したツール(自治会で必要な標準的な機能に限定)で、「こむねっとひろしま」のサイトで運用されます。

運営するには、広島市役所管内の各町内会・自治会の特定の役員が利用申請して、地域ポータルサイトのホームページに掲載されている「操作マニュアル」を自習して、作成及び運用します。

また、これらの導入及び運用費用は、広島市(「こむねっとひろしま」に委託)が進めていることから無料です。

《ポイント》

◎広島市の各町内会・自治会の多くが利用している

◎広島市が企画・運営(外部委託「こむねっとひろしま」のサイト)しており安心・安全

◎導入及び運用費用は無料

2. 「はすが丘自治会ホームページ」の運用課題について

「はすが丘自治会ホームページ(以下「当ホームページ」という)」は、パソコンでの閲覧が主流の時代にパソコン仕様(含む特殊な方法)で開設されましたが、はすが丘自治会会員のパソコン利用者は減少傾向にありパソコンでの閲覧は少ない状況にあると思います。

また、はすが丘自治会会員の携帯電話利用者は増加していますが、パソコン仕様では閲覧が容易でないことや当ホームページの存在が知られていないこともあり、携帯電話での閲覧は少ない状況にあると思います。

一方、当ホームページを閲覧された方からは、内容が古い、内容に関心がない、閲覧しにくい、必要な情報がないなどから閲覧しようとは思わないなどのネガティブな感想を多くいただきました。

これらは、運営者が「どんな情報を載せるか」や「どう載せるか」をうまく処理していないことが原因ですが、運営者だけで両方をうまく処理することは大変難しいと思います。(「はすが丘ニュース」についても同様です。)

また、運用者に一定のスキルが必要であることなどから、広島市が推奨する運用体制になっていません。

さらに、こういった種々雑多な課題に対応する事務局役員の事務の仕組み(みんなで使用できる環境など)も脆弱(文書、電話、LINEのみ)であることは否めません。

《ポイント》

◎スマートフォン対応でない

(メニュー、各機能の標準化をどうやって実現するか)

◎どんな情報を載せるかの仕組みが脆弱

(閲覧者のニーズを、如何に、多角的に、多面的に集めてどう編集するか)

◎どう載せるかの運用体制(含む運用者の育成)が脆弱

(本来の機能にどうやって実現するか)

◎事務局役員の事務の仕組みも脆弱

(参照 進め方(案)について(検討メモ))

<「こむねっとひろしま」が準備している機能>

「お知らせ機能」、「カレンダー機能」、「フォトアルバム機能」、「カウンター機能」、「グーグル地図機能」、「掲示板機能」、「アンケート機能」、「新着情報機能」、「汎用データベース機能」、「動画機能」、「キャビネット機能」、「施設予約機能」、「チャット機能」、「レポート機能」、「日誌機能」及び「グループルーム機能(許可された人に限定)」など

※当ホームページは、下線の機能を使用しています。ただし、本来の機能ではありません。

3. 「はすが丘自治会ホームページ」の運用課題対応策(案)について

(1) スマートフォン対応

パソコン仕様のホームページを、会員の多くが活用されているスマートフォン仕様の様式に変更して閲覧を容易になるよう変更します。

具体的には、スマートフォン様式(メニュー、新着情報、カレンダー)を前提にして、メニューリストの整理整頓、表示欄の拡大及び各ページの標準化を行います。

① 今までの「はすが丘自治会ホームページ」のイメージ概要

(常に表示されています)		ログイン
○トップページ		
(常に表示されます)	(メニューにより表示)	(トップページ時のみ表示)
○カウンター		
○メニューページ		
○トップページ(ホーム)		
○メニュー(含むカレンダー)		
○会員数		
○写真		

② スマートフォン仕様の「はすが丘自治会ホームページ」のイメージ概要

(常に表示されています)		ログイン
○トップページ		
(常に表示されます)	(メニューにより表示)	
○メニューページ	表示欄を一つにして大きく表示させます。 各機能を標準化します。	
○トップページ(ホーム)		
○メニュー(含むカレンダー)		
○カウンター		
○会員数		
整理整頓します。		

③ スマートフォン仕様の「はすが丘自治会ホームページ」のイメージ



左図イメージの赤枠がトップページです。

下欄のパソコン仕様のページイメージと同様に常に表示されていますが、二段目に「メニュー」、「新着情報」、「カレンダー」のボタンがあり、押下すると下の青枠に当該内容が表示されます。

初期画面では左図イメージのメニューリストが表示されています。

「メニュー」ボタンを押下すれば、「メニューリスト」が表示されます。

「新着情報」ボタンを押下すれば、加除修正された内容の一覧が表示されます。

「カレンダー」ボタンを押下すれば、カレンダーが表示されます。

左図イメージの青枠が表示画面です。トップページ二段目の各ボタン又は「メニュー一覧」の各ボタンを押下するとその内容が表示されます。

(パソコン仕様との比較)

(常に表示されています)		ログイン
○トップページ		
(常に表示されます)	(メニューにより表示)	
○メニューページ	上記のスマートフォン仕様には画面の制約で左側のメニューリストなどが常に表示されていませんが、その代替案として、トップページの2段目にメニューボタンがあるのだと思います。また、最初に表示させた時(初期画面)にメニューリストを表示させる工夫もしています。	
○トップページ(ホーム)		
○メニュー(含むカレンダー)		
○カウンター		
○会員数		

(2) 掲載内容を充実させる(「はすが丘ニュース」での対応)

- ① 「はすが丘自治会ホームページ」と「はすが丘ニュース」の記事を連携させるとともに、合理的な機能分担を図り、便利な情報を提供します。

《機能分担(例)》

はすが丘自治会ホームページ	はすが丘ニュース
伝えたい内容を画像や図などを使用して丁寧に掲載する	紙面の制約で伝えたい内容について要約して掲載する
過去の記事を蓄積して、検索できるようにする	ゴミ出しなど過去の記事を説明したい場合ホームページを案内する
写真や図などを蓄積して、検索できるようにする	写真や図などを一定数以上掲載したい場合、ホームページを案内する
タイムリーに、「お知らせ機能」や「カレンダー機能」などに掲載する	月単位発行であることから、タイムリーな情報の掲載ができない

- ② 必要な情報を、その場で、素早く閲覧できるように、「はすが丘ニュース」に二次元コードを付加します。また、現在回覧されている関連団体などからの情報も効果的なものからこの二次元コードを付加して便利な情報の提供を目指します。

《二次元コード活用例》



「はすが丘自治会ホームページ」のトップページを表示



子ども会育成会のページをダイレクトに表示



任意の文字を表示

注) この二次元コードは QR コードといわれ 1994 年に愛知県の自動車部品メーカー「デンソー」の開発部門が発明したマトリックス型二次元コードです。

- ③ どう集めてどう編集するのかの仕組みを進める。(参照 進め方(案)について(検討メモ))

(3) 会員に役立つ道具にする

① 現在使用していない機能(はすが丘自治会会員全員の活用を想定)

(どう載せるかの運用体制(含む運用者の育成))

「グーグル地図機能」、「掲示板機能」、「アンケート機能」、「新着情報機能」、「汎用データベース機能」、「動画機能」、「キャビネット機能」、「施設予約機能」、「チャット機能」、「レポート機能」、「日誌機能」などについて、本来のサービスが提供できるか評価して採用します。

② グループルーム機能(事務局役員の活用を想定)

(事務局役員の事務の仕組み)

この機能は、あらかじめ一般会員として登録された者(事務局役員を想定)がログインによりホームページに入ると、現在の公開ページ(パブリックスペースと表示されます)に加えて、一般会員に限定した専用ページ(グループスペースと表示されます)が利用できます。

このページは、公開ページ同様に前述の機能が利用できますが、特に、「掲示板機能」、「アンケート機能」、「汎用データベース機能」、「動画機能」、「キャビネット機能」、「施設予約機能」、「レポート機能」、「日誌機能」が、「こむねっとひろしま」のサイトにありますので、一般会員であれば、いつでも、同時に、パソコンやスマートフォンなどから利用できます。

また、これらの同様な機能はグーグル社などの大手のサイトでも無料で使用できますので評価して併用することも考えられます。

(スマートフォンは、上記以外にも家電のリモコン、防犯カメラのモニター、磁石、水平器といったものが使える便利な道具になっています)

(4) 運用体制(事務局役員など)

(どう載せるかの運用体制(含む運用者の育成))

地域ポータルサイト(こむねっとひろしま)を管轄している広島市役所市民局市民活動推進室から、運用は複数名で実施することが推奨されていることや、新たな機能を設定して便利なサービスを提供するためには、体制を強化する必要があります。

① 機能強化時

最低でも二人以上、できれば三人以上の関係者がチームを編成して、勉強会を行いながら、習熟度に応じて分業して、一つ一つ進める。

② 通常運用時

二人以上の関係者が担当する。

最後に

こういった新たな取り組みは、目的及び目標を明確化し、背景、課題、対応策及び条件などを関係者で共有化して、取り組みの機運を醸成することが肝要であると思います。

以上

進め方(案)について(検討メモ)

1. 現担当者(小泉)でできること

- ◎現行ホームページのスマートフォン仕様への変更
- ◎現在使用している機能の標準化
- ◎現在使用していない機能の調査・研究
- ◎基礎知識の勉強会の開催
- 現行レベルの「はすが丘ニュース」の記事の掲載

2. 事務局員有志などでできないか？

■「どんな情報を載せるのか」の仕組みづくり

◎役員間の仕組みづくり

(現在、子ども会役員からLINEで記事のメモと画像を受け取り、編集して、校正をLINEで行っています。—ご褒美として素敵な感謝のメッセージがあります—
先日グラウンドゴルフ部からもありました。 専門部、各サークルなどからは？)

◎会員間の仕組みづくり

(会員一人ひとりの情報を共有化していきがづくり —趣味自慢など—)

■「どう載せるか(技術的に)」のチームづくり

- 機能の標準化についての協議、できれば組み込み
- 機能追加についての協議、できれば組み込み
- 広島市が推奨する体制づくり

■「事務局事務の見直し」のチームづくり

- 当ホームページの各機能とグーグル社の機能比較・評価及び設定
- 事務局文書においてワード文書でないものがあればワード文書化
- 新会員募集パンフレットなど自治会活動に必要な文書の作成など

◎ 進める方向であるなら、広島市に事務局役員全員、一般役員登録を行う。

◎ 事務局役員の今年度の分担との調整

3. 勉強会の開催(含む公民館の講座の利用)

- ◎事務局員内勉強会
- ◎会員内勉強会

以上